



(奈良)

調査地は平城京跡左京二条二坊十坪の西北隅にあたり、法華寺阿弥陀浄土院推定地に含まれる。阿弥陀浄

- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要
- 6 遺跡の種類 寺院跡
- 5 遺跡の年代 奈良時代、平安時代

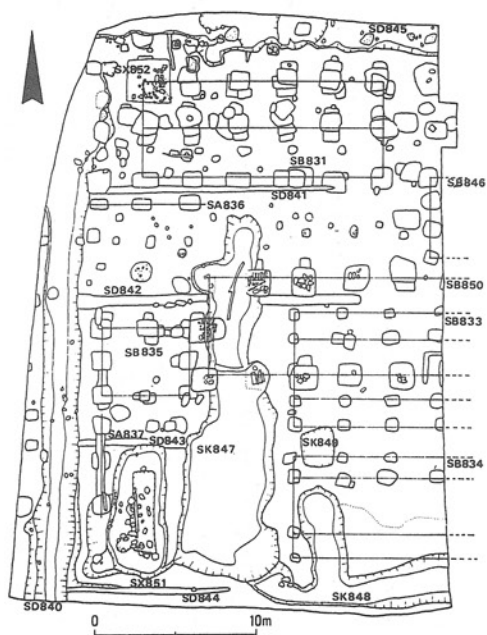
- 1 所在地 奈良市法華寺町
- 2 調査期間 平城宮跡第八〇次発掘調査 一九七二年(昭47) 一月～二月
- 3 発掘機関 奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部
- 4 調査担当者 代表 坪井清足

一九七七年以前出土の木簡(二一)

奈良・平城京跡左京二条二坊十坪

へいじょうきょう

土院は光明皇太后の発願により、法華寺の西南隅に建立された寺で、天平宝字三年(七五九)に造営が開始され、彼女の死後の同四年二月に完成した。調査区の東南隅から約二〇mの所には、阿弥陀浄



遺構図

土院の庭の石と伝える花崗岩が水田中に立つ。調査面積は九六〇m²。